



# 三星の風

第42号

平成22年

3月16日

鹿児島県立

鹿屋高等学校

## 三星健児としてのチャレンジ精神を

### 三百十一人が巣立った第六十二回卒業式

三月二日、第六十二回卒業式が挙行されました。六十二期生の三百十一人が学舎を巣立っていきました。男子百五十八人、女子百五十三人の卒業生は、みんな晴れやかな表情で懸命に努力した高校生活を振り返りながらも、これからの上級学校での勉学や実社会での仕事への決意に燃えていました。

大迫勝次校長は式辞の中で、「人生は、いつ何が起るか予測できない。苦しみには遭わない人生などない。苦しみにあっても負けない、苦しみを受け止め、苦しみは当然だという気持ちで生きてほしい。常にチャレンジ精神で失敗を恐れず、失敗してもたくましく生きてほしい。」と激励しました。

また、中原浩一PTA会長は、「三星健児の知力・徳力・体力を発揮し、健康で明るく、元気で、世界に貢献できる人物になってほしい。皆さんは大隅の人材・資産である。愛する郷土、家族、地域の人々を忘れないでほしい。」と先輩としての言葉も交えて話されました。

送辞や答辞にも、同じ三星健児の意気込みが感じられました。式後の最後のHRでは、保護者も見守る中、各自がその思いを述べ合っており、和やかな中にも互いの努力を称えました。

卒業生全員が、晴れやかな表情で母校を後にしました。



### 園児との交流



### 園長先生の講話



### 保育園実習の実施(一学年)

本校一年生三百七十七人は、家庭基礎の学習において、保育園実習を実施しました。二月十五日から五回に分けて、学級ごとに白崎保育園を訪問し学習を深めました。生徒たちは、乳幼児との交流や園長先生の講話を通して、子どもに関心をもつとともに、親の役割や保育の重要性、保育士の仕事内容を学びました。

一年六組の松山阿佑美さん(錦江中出身)は、学習後に、「コミュニケーションの大切さを学ぶよい機会となった。自分を支えてくれている両親に感謝の思いを伝えたい。」との感想を述べていました。

### 三・四月の主な行事予定

#### 三月

- 一七日(水) 合格者発表
- 一八日(木) 合格者集合(中三)
- 一九日(金) クラスマッチ
- 二五日(木) 終業式
- 二六日(金) 学年末休業〔二・三日〕
- 二九日(月) 離任式

#### 四月

- 一日(木) 学年始休業〔二・五日〕
- 六日(火) 新任式 始業式
- 六日(火) 入学式準備
- 七日(水) 入学式
- 八日(木) 実力考査(二・三年)〔二・九日〕
- 九日(金) 心臓検診(一年)
- 九日(金) 対面式
- 〃 X線撮影
- 二日(月) 朝課外開始(二・三年)〔二・三日〕
- 〃 〃 二者面談〔二・三日〕
- 四日(水) 尿検査一次〔二・五日〕
- 〃 〃 歯科検診
- 九日(月) フレンドシップウィーク〔二・三日〕
- 二日(水) 宿泊学習(一年)〔二・三日〕
- 二三日(金) 一日遠足(二・三年)
- 二四日(土) 学研模試(三年)〔二・五日〕
- 二六日(月) 朝課外開始(一年)〔二・七日〕
- 〃 〃 尿検査一次〔二・七日〕
- 二七日(火) 新体力テスト
- 二八日(水) 身体測定

※ 都合によって変更・追加される場合があります。

※ 詳細は学校にお問い合わせください。

毎月発行するこの「三星の風」は、鹿屋高校のホームページにも掲載されています。

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kanoya/ 「鹿屋高等学校」でも検索できます。

**うれしいニュース・最新版** 2月18日(木)

**本校が「歯の優良校」として表彰**

2月18日の鹿屋市学校保健研究協議大会において、歯の優良校の審査において「優良校」に表彰されました。むし歯予防活動の成果が認められ、今後の更なる取組が期待されています。  
 本校保健部はもとより、本校PTA厚生保健部活動の成果です。

**うれしいニュース・最新版** 2月16日(火)

**「PTA便り」が鹿屋市最優秀賞**

鹿屋市PTA連絡協議会の平成21年度広報紙コンクールで、「鹿屋高校PTA便り」が高等学校の7点中、最優秀賞を獲得しました。広報部の皆さんの堅実な努力が報われました。  
 なお、鹿屋市PTA連絡協議会総会の席上で表彰される予定です。

**うれしいニュース・最新版** 2月20日(土)

**図書券の寄贈**

「三星会鹿児島支部同窓会・総会」が2月20日に開催され、後輩たちの読書活動の推進に役立つように、5万円の図書券を寄贈していただきました。早速、図書館で新刊35冊を購入させていただきました活用しています。生徒の図書委員たちもとても喜んでいました。この場を借りて感謝申し上げます。

**うれしいニュース・最新版** 2月22日(月)

**吉井淳二記念展で受賞**

**奨励賞 岩元杏里** (1年 錦江中出身)  
 作品名「不自然」

昨年度に引き続き、吉井淳二記念展で多数受賞しました。本校の芸術関係の部活動の今後の活躍が大いに期待されます。  
 なお、同展には、岩元さん以外に本校の美術部員5人が入選しました。

**平成21年度学校関係者評価委員会の評価結果（概要）**

学校関係者評価とは、本校内で行われる自己評価（生徒・教職員）を元にして、保護者や地域住民・中学校関係者等の代表の方を委員（5人）として依頼して、本校の重点目標について評価していただく制度です。評価を実施することで、学校の組織的・継続的な改善、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくり、学校の教育水準の向上等を目指しています。本年度は、第1回が6月23日（火）に、第2回が9月18日（金）[行事見学のみのみ]、第3回が2月15日（月）に開かれました。

評価項目（重点目標）	評価	学校関係者評価委員からの主な意見
1 生徒と教員が一体となって授業に取り組み、進路実現へのモチベーションを高める。	3.2	・学力の向上が図られ評価できる。個別指導や予習復習の習慣化等に更なる努力を望む。 ・三星塾を活用して、職業観育成に取り組んでほしい。
2 生徒は学校行事等（体育祭・文化祭・部活動等）に主体的に取り組み、三星健児として凛々しく活動させる。	3.6	・生徒たちの学校行事に対する取組がとても積極的だ。 ・生鮮芸術市場の取組が非常によい。 ・8割の生徒が部活動に所属し、自己研鑽に励み、非常に頼もしい。
3 服装・あいさつなどの基本的な生活習慣を確立させ、交通安全指導を十分に行って事故・違反防止に努める。	3.6	・価値観の多様な社会にあつて、基本的な生活習慣は恥ずかしくないレベルにある。 ・規則正しい生活や体調管理について、家庭とのより一層の連携を望む。
4 生徒との個別面談やカウンセリング等を充実させ、保護者等との連携を十分位図る。	3.2	・生徒の人生設計に対して、先生方がもっと自信をもって関わってほしい。 ・教職員と保護者との面談は十分である。 ・校外のカウンセラーを設置している点が評価できる。
5 校内からの情報発信を活発に行うとともに、校外でのボランティア活動や部活動の実績を向上させ入学生徒の確保に努める。	3.2	・生徒保護者教職員ともにボランティア活動への意識が低い。人間性の陶冶に絶好の機会なので、機会の増加を望む。 ・計画的な活動を推進して、マスコミ等への情報提供に努めてほしい。
6 その他	—	・徳育を充実し、志をもって努力する生徒の育成を望む。 ・細やかな学校評価を実施し、実態や課題の把握に努力していることを評価する。 ・保護者アンケート「鹿屋高校に入学させてよかった。」の高い評価だったのですばらしいと思った。

※ 評価は4段階評価。  
 ※ 評価基準；4＝十分評価できる 3＝おおむね評価できる 2＝あまり評価できない 1＝ほとんど評価できない